日刊 動労千葉

83, 1, 20
No1245

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一―八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

臨調・行革粉砕！　三里塚ジェット闘争勝利！

1.14 動労千葉 団結旗びらき 盛大にかちとられる

その1

＊＊＊＊＊＊

一月十四日、動労千葉は「一九八三年団結旗びらき」を船橋市・三田浜楽園ホテルで開催し大成功をかちとりました。

第一部は、

十三時二〇分、組合員一四五名が会場を埋め尽すなか、片岡執行委員の力強い開会宣言で始まり、関川委員長のあいさつに続いて、中野書記長より「一九八三年への突入にあたって」と題する基調報告が行われ、激動の八三年を闘いぬく動労千葉の方針が鮮明に提起され、全体で確認しました。第一部の最後は全支部長が登壇し、代表して勝浦・鶴岡支部長、新小岩・松崎支部長より決意表明をうけ、終了しました。

第二部は、

各労組代表や支援共闘の仲間も加わり、各界代表からの連帯のあいさつとアトラクションとして各支部対抗カラオケ合戦がおこなわれました。旗びらきには多くの来賓の方々が出席され、県労連・井原議長、各労組を代表して県交運議長でもある国労の本吉副委員長、三里塚反対同盟から かけつけられた七名の方を代表して北原事務局長、社会党議員団を代表して赤桐操参議院議員、八三年政治決戦に挑む社会党の国会・県議会・市議会議員候補を代表して糸久八重子氏、動労千葉支援基金世話人・高島喜久男氏、動労千葉顧問弁護団・市川弁護士から激励と連帯のあいさつをうけました。

最後に船橋市議選をたたかう中江顧問の決意表明がおこなわれ、関川委員長による「鏡びらき」の後、中江総合選対委員長に予定されている花輪病院の会長である太田虎雄氏の音頭で乾杯し、いよいよ旗びらきの呼びもの＝支部対抗カラオケ合戦に入りました。各支部から選ばれた二〇名に「飛び入り」も加わり、自慢のノドを競い合いヤンヤの喝さいをあびました。

旗びらきは大盛況をはくし、八三年を闘いぬく決意をうち固め、関川委員長の団結ガンバローをもって大成功のうちに終了しました。

＊＊＊＊＊＊

（八三年、三里塚―国鉄―中江選挙で勝利するぞ！）

団結固め、勝利の八三年へ
―関川委員長あいさつ―

昨年一年、動労千葉はもちろん、三里塚反対同盟の仲間も政府・公団の攻撃に負けず、組織を守り二期着工の野望を粉砕した。私たちも国鉄労働運動つぶし、さらに全国の闘う労働者―労働組合つぶしに抗して、あらゆる場で訴え、闘いぬき、闘いの輪の確実な拡がりを確認した。

八三年は、ますます厳しい攻撃との対決になるが組織の団結をがっちりうち固め、闘いの原則をしっかり守って闘いぬくならば、勝利はわれわれのものである。八三年を意気高く闘いぬこう。

来賓の方々のごあいさつより

千葉県労連議長・井原完輔氏

動労千葉が団結を固め、経済闘争・政治闘争・平和と民主々義を守る闘いを進めていることを高く評価しています。八三年は厳しい年です。八三国民春闘も経済四団体が賃金押えこみを宣言し、また国鉄労働者には昨年来の「国鉄悪者論」宣伝による労働運動破壊攻撃との対決は正念場を迎えるでしょう。春闘、反合、政治闘争を結合して闘おう。とりわけ中江さんを先頭に闘う四月の統一地方選挙の勝利は重要です。中江さんの当選は千葉県全体の革新の勝利であり、ぜひとも勝ちぬいてほしい。

三里塚反対同盟事務局長・北原鉱治氏

八二年は三里塚も国鉄も激動の年、多難な試練の年でした。三里塚の十八年の闘いも、いくつもの山をのりこえ闘ってきました。私たちの闘いは鮮明です。勝利というのは実力闘争によってうる以外にありません。「成田用水」問題や革マルの破壊策動を粉砕して、二期着工阻止への体制を強固にうち固めて八三年を迎えました。八三年、三里塚闘争の勝利をにぎる闘いを動労千葉とともに闘っていきたい。

動労千葉支援基金世話人・高島喜久男氏

今年は激動の年といわれています。しかし、「激動」は自然に起るのではなく、労働者・人民が実力で闘ってはじめて、激動をよび起すことができるのです。今日の労働運動の現状の中では、闘う唯一の拠点＝動労千葉への重圧は大きいでしょう。動労千葉を中心に全国の闘う労働者が結集し、困難に耐えて闘って勝利しましょう。今年の年末には再び皆さんと共にこうやって勝利のパーティーを開きたいと思います。がんばって下さい。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！